



パッチワークのテーマ“ぬくもり”女性委員会のみなさんの協力であったかい作品完成！

主要内容

1P 表紙 パッチワーク作品 主要内容
2P 挨拶 世羅町老連会長 世羅町長
3P 挨拶 世羅町社協会長 町老連情報
4P 報告 研修部会報告 指導者研修会
5P 報告 健康部会報告 親善GG大会他
6P 報告 奉仕部会報告 卒寿対象者
寄稿文

7P 部会 奉仕部会報告 寄稿文
8P 趣味部会報告 女性委員会報告
9P 若手委員会報告 甲山支部だより
10P 世羅支部だより
11P 世羅西支部だより
12P 裏表紙 ポイント事業終了
事務局交代 編集後記

新役員体制スタートにあたり ～どうせやるなら楽しく～

世羅町老人クラブ連合会
(愛称 健康クラブ)

会長 田坂 誠



現在、老人クラブの組織自体が消滅の危機にあります。詳しくは研修部会の指導者研修会報告の内容をご覧ください。

世羅町内でも、平均年齢が80歳以上の単位クラブが多く、解散するところが次々と現れています。この様な状況下で町老(健)連では、令和3年度最初の理事会で老人クラブの消滅化問題に大局的観点に立って取り組むことを確認しました。今日高齢者は何を望んでいるのか、本質(目的)を見失うことなく従来の形式やマニュアル等に捕らわれることなく「いろいろな角度からの見方」や「物差しを変えた価値判断」「最低でも10年先」を見据えるような柔らかい頭で、ボケ防止の脳トレに役立つと思い取り組むことをお願いしました。嫌々やっても何ひとつ得にはなりません。「どうせやるなら楽しく」を合言葉にスタートしたいと思います。会員の皆様も同じ気持ちで活動していただければ幸いです。

私の会長としての2年目が始まります。高齢者の望む幸せにつながる組織づくりに向けて、頭を柔らかくして考えているところです。私案としてまとめ、本部会なり理事会に提起し議論していただくよう準備を進めております。よろしく願いいたします。

言葉の伝わり方

世羅町長 奥田 正和



春の爽やかな風と心地良い日差しの中、新年度がスタートしました。世羅町老人クラブ連合会の皆様におかれましては、お元気で過ごすごしのこととお慶び申し上げます。

マスク着用の生活が続ぎ、笑顔を見る機会が減っています。多くの方とお話する中で口元が見えない分、上手く言葉が伝わるか心配な場面が多くあります。地域の懇談に行った際も声の通りが悪く、気持ちが伝わっているか、内容を理解されているかと反省しています。昨年末にお邪魔した東地区の集会では、一時間の限られた時間でしたが、身近な意見を多く頂きました。上手く表現できていない答えは後程お返しする事としましたが、言葉のキャッチボールがまだまだ勉強不足だと思いました。

町老連の田坂会長と私には共通の知人がいます。総領町出身の故・和田芳治氏です。言葉を操るのが得意で教育長を務められた経験とレクリエーション活動による人脈で多くの人々を巻き込み、過疎を逆手にとる会で多くのイベントを企画し、笑顔で楽しませていただきました。ベストセラーになった「里山資本主義」にも取り上げられ、自身は「里山人間(人源)主義」を唱え人が輝いてこそ社会は明るくなると言われています。和田氏を偲んで出版された「私の恋文」の言葉百選に田坂会長も寄稿されており、過疎を逆手にとる会の活動は価値を計るものさしを変えマイナスもプラスになる、和田氏とその人脈に出会ったお蔭と述べられています。なかなか真似は出来ませんが、私も人前で話すときには聞いてくださる皆様の気持ちを豊かに聞き入れ心に響く言葉を届けなくてはと思っています。

貴会員の皆様は人生の先輩ばかり。会員同士がそれぞれお持ちの豊かな経験と技術を充分に発揮され、我々に伝授いただくことを願っています。皆様の益々のご健勝とご多幸ご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

老人クラブ活動と 福祉をつなぐ

世羅町社会福祉協議会

会長 前原 春夫



世羅町老人クラブ連合会の皆様には、ご健康にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素から社会福祉協議会の運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

ご承知のように老人クラブは、1963年(昭和38年)に施行された「老人福祉法」の中では、老人福祉を増進するため「老人の健康の保持と社会活動への参加」を目的とする団体とあり、健康寿命の延伸、地域づくりの担い手として地域に密着した活動を展開し、時代の変化に合わせて、老人クラブも地域に合わせた役割を担うだけでなく、人生100年時代における地域課題解決のキーパーソンの存在となることが求められています。老人クラブがその意義や魅力を高め、組織の強化に努

め、機能が十分に発揮できるよう、協力を行っていく所存です。

現在、地域では「一人世帯の増加・二人とも高齢者世帯の増加・子供の声が聞こえない・空き家が増えた」などの困りごとを耳にします。私たちの住んでいる地域も安心して暮らすためにも、地域の困りごとや課題をみんなで作って解決に向けて地域で支え合っていく仕組みを作っていくことが重要ではないでしょうか。老人クラブ会員の皆様をはじめ、地域住民の方々にも地域福祉活動に参加していただき、「高齢者の見守り合いや、声かけ合い活動」を通して、お互いが支え合って交流することで、自らも生き甲斐づくりや介護予防にもつながり「誰もが安心して暮らせる地域づくり」にご協力賜りたく存じます。今後とも老人クラブの役員並びに会員の皆様のより一層のご理解とご支援をいただきますとともに、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。社会福祉協議会も地域福祉活動の推進にともなう努めて参りますので宜しくお願いたします。

結びに、会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

世羅町老人クラブ連合会(愛称=健康クラブ)のめざすもの 「健康・友愛・奉仕」～地域と福祉を支える老人クラブ～

- 1 : 持続可能な活動計画(会員増強運動)による組織基盤を強化しよう
- 2 : 健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」を進めよう
- 3 : 高齢者の日常生活を支える「地域支援活動」を進めよう
- 4 : 高齢者の尊厳が守られる「社会保障の確立」に向けて活動しよう
- 5 : 特殊詐欺・交通事故等の被害者にならない「学び活動」を進めよう

部会と活動内容(近年取り組んでいる内容)

- 研修部会=指導者の育成、会員の研修(研修会 視察研修等)
- 健康部会=会員の健康増進、親睦(スポーツ、レク、交通安全等)
- 広報部会=町老連、支部、地区、単位クの活動広報(老連だより)
- 趣味部会=趣味を通して会員相互の交流、心の健康(作品展等)
- 奉仕部会=長寿会員の慶祝、ふれあい訪問等(卒寿会員の慶祝)
- 女性委員会=女性の立場から取り組む活動(女性のつどい等)
- 若手委員会=新しい会員の交流と加入促進活動(ゴルフコンペ)

各部の活動報告

研修部会

部長 中元 啓二

世羅町老連(愛称「健康クラブ」)

地域指導者研修会

日時：十二月一日(水)

場所：甲山農村環境改善センター

参加者：六十五名

開催趣旨：老人福祉法に基づく

「老人クラブ」が時代・社会状況の変化に対応できなくなり、消滅の危機にあります。その根本原因に迫り、老人クラブの絶滅化問題について話し合います。

テーマ

「58年間よくここまで続いたものだ」
～ピンチをチャンスに変えましょう～



田坂会長からの基調提案を受けて、参加者は3支部、男女がほぼまんべんなく入ったグループを作り、老連の役員としての楽しさ、やり甲斐に感じてもらい、また負担に感じたり嫌になったりすることなどを出し合いながら、組織存続の課題に迫る話し合いをしました。



指導者研修会を終えて

報告者 田坂 誠

今年度の研修会の目的は、県老ク組織が絶滅化に近づいてい

ることを知って頂くためです。(12月10日県老連事務局は「今の減少率から推測すると12年後の会員は0になる」と発表しました。)

このような状況に至った背景、要因を私なりの思いで分析したものを述べ、皆さんに考えていただきたいと思います。批判は大歓迎です。嫌いなものは無視・無関心です。

①現在の老人クラブは、S38年(1963年)「老人福祉法」に基づいて高齢者の福祉行政推進のためにつくられたものです。当時60歳以上を「老人」と定めて設立された「国立老人クラブ」です。

②従って福祉活動推進に好都合な行政区割の小集落単位で「老人クラブ」がつけられました。

③娯楽の少ない発足当時は補助金もあり、多くの会員が参加

し活発に活動しました。(半強制的加入だったかも?)

④過疎化、人口減少等で集落維持さえ困難化した現在、高齢者だけの小単位組織活動ができませんになりました。

⑤現在、福祉活動の中心はS52年(1977年)設立された社会福祉協議会が担っています。

⑥時代の流れとともに人々の生活・意識・思考も変わります。次世代からは必要性を感じられず、嫌われさえる様に至った現老クへの加入増は、夢物語です。

以上のような背景、要因により、現在の「福祉活動型国立老人クラブ」は危篤状態に陥っているのではないのでしょうか。改革なくして継続無し」「危機感なくして改革意識は生まれず」今、「ピンチ」と感じるなら改革への第一歩を踏み出す「チャンス」だと思いませんか。

健康部会

部長 多留見 衛

第十四回
世羅町老人クラブ連合会
親善グラウンド・ゴルフ大会

十月二十六日(火)、晴天のせ
ら夢公園GG場に一一五名の会
員が集まり開催されました。

昨年に続き、今年もコロナ禍
の中で開催日程が難しく、九月
の予定が1か月の延期となりま
した。

田坂会長、町長様をはじめ来
賓の挨拶の後、入賞を目指して、
一斉に各ホールに向かい、今日
こそはと胸を張ってクラブの音
が聞こえてきました。

「入ったぞ」「しまった」とい
う声が聞こえ皆さんの楽しそう
な時が流れていました。グラウ
ンド・ゴルフは日によって調子
のよい日と悪い日があります。

また、運と技術が五分五分だ
とも言われています。このス
ポーツは中高齢者の健康上、特
に良いとされています。元気で
集い、プレーできることを喜び
合いました。

本大会の男女別三位までの成
績を紹介し、ご健闘に拍手を送
ります。(敬称略)

男性の部

優勝 田坂 英二

準優勝 小林 義昭

第三位 田淵 康豊

女性の部

優勝 福岡和佳子

準優勝 小林 弘子

第三位 川手 君江

今回入賞されなかった方も、
来年度も計画しますので多くの
皆さんの参加をお願いします。



尚、例年男女三位までの入賞
者が参加していた県老連理事長
杯大会が、今年度は中止となり
残念ですが、来年度はまた復活
開催されることを祈りたいと思
います。



交通安全に取り組み活動紹介

世羅支部 中堀健幸クラブ

会長 山崎 始

中堀健幸クラブでは、交
通安全期間中に合わせて、交
通安全標識の陣旗を道端
に立てて通行車輛等に無事
故と交通安全運転の啓発活
動を十五年来続けています。

また三月には、運転免許
証保持高齢者を対象にして
「超小型(二人乗り)電気自
動車」の試乗会と安全運転
講習会を計画しています。



祝卒寿

卒寿を迎えられた方々をご紹介します。〔敬称略〕

奉仕部会

部長 向井 浄博

単位クラブ名	お名前	単位クラブ名	お名前	単位クラブ名	お名前
甲山親和会	大原 幸子	播反喜楽会	西丸 美恵子	重永後若葉会	金久 ナミエ
	積山 千恵子		岡田 幸子		浅尾 マスミ
小世良親和会	友清 トヨコ	宇津戸箱やらん会	行旨 フミエ	賀茂西健生会	和田 みよ子
西上原親和会	影久 ノブコ	宇津戸中原栄寿会	金田 美恵	青水青和会	大原 すみ子
東上原幸友会	杉原 吉野	宇津戸福寿会	法堂 多都子		竹田 イツ子
	貞政 八千代		登 一人	清田 文生	
	宮丸 君子	黒淵むつみ会	西川 トシエ	大田町長寿会	幸谷 精三
金藤 類三	神田 マサコ		栄町長生会	岡田 福三	
川尻長寿会	小平 富美枝	中堀健幸クラブ	笠藤 正栄	寺町百寿会	木船 艶子
	石森 マツヨ		石田 君江	いきいきシニア小国	三石 龍男
伊尾相生会	森 次郎	田打寿友会	後呂 静人	黒川暁クラブ	田島 強
青近喜楽会	原田 勉	重永前八笑会	宮原 ミサ子		中場 実男
	末国 規治	重永後若葉会	重光 勝年	藤戸 喜久美	
			金久 弘		

卒寿を迎えられた伊尾本地にお住いの森次郎様に伊尾相生会中元啓二がお話を伺いました。

卒寿に寄せて



伊尾相生会
森次郎

- 昭和6年4月24日生まれ(90歳)
- 昭和25年3月 世羅高校卒業
- 同年 6月 農水省に就職
- 芦田川農業水利事務所

(三川ダム)に配置

- 昭和35年4月 松山市へ転勤
- 昭和38年6月 岡山市へ転勤
- 昭和61年6月 鳥取市へ転勤
- 昭和62年10月 広島市へ転勤
- 平成2年4月 農水省退職
- 約40年間にわたり勤務した。

約30年間妻が一人で留守を守り、農業(1ha)の維持管理と老親の介護子育てをしてくれ、特に母が約15年間次第に認知症が進む中、一生懸命介護してくれているのを見て、定年を早め本地に帰ってきました。

しかし同年10月母が96歳での世を去りました。

退職後、世羅町の民生委員を18年間勤めました。その間、各地の施設などを見学し、そのたびに自分の行く末を思いながら、多くの勉強をさせていただきました。

又その中でいかに言葉使いが大事であるかということ、怒ってはいけない、人の悪口は言わない、やさしい言葉をかける、高齢者の見守りの大切さ、特に一人暮らしの人の話し相手になり、地域の人と積極的に交流することなどを学びました。

現在、大病を克服し夫婦で散歩したり、畑仕事をしたりしながら、今でも民生委員時代のことを思い出し、人と人の関りがいかに大切であるか、まだまだやることがあるのではないかと思いながら、余生を楽しんでいます。

森さん、たくさんの貴重なお話をいただきありがとうございます。

卒寿を迎えて



甲山親和会
積山 千恵子

私は甲奴郡上下町上下（現在は府中市上下町上下）に生まれ、農家の末っ子として皆に可愛がられて育ちました。

昭和13年4月1日、国民小学校入学、小学生後半に大東亜戦争が始まり、卒業後上下高等女学校へ入学しました。戦争は激しくなるばかりで、上級生は呉方面へ挺身隊として行き、校内は学校工場となり戦地の兵隊さん達に送るための蚊帳や防寒着などを縫う為、動力ミシンが沢山設置されるようになりました。そのような環境の中、私たちは鉢巻にモンペ姿で働いたものです。教科の授業時間は少なくなり、出征兵士さんの宅への勤労奉仕に行く日も多くなりました。そんな中、私たちは鎌とカ鍬まで持って登校したものです。

終戦後、女学校を卒業し高等学校定時制被服科に助手として2年間勤務しました。

その頃から縁談話が色々あるようになり、成人式を迎えてばかりの昭和26年春、甲山の積山呉服店に嫁いでまいりました。私にとり商売等全く初体験のことばかりで、ただ一生懸命、店と家事に励み子育てをしながら夜遅くまで頑張ってきました。幸いに舅、姑さんにもやさしくしていただき、最後まで世話をさせてもらいました。

時代とともに商売の方も変化し、個人経営は困難になり、法人組織として新たに経営することが望ましくなり、店を有限会社として頑張ってきました。しかし、経営状態等色々と考えた結果、昭和62年3月、会社を閉めることになりました。今までお世話になったお得意様、皆様にご感謝申し上げます。

現在、主人は町内の特別養護老人ホームでお世話になっていますが、私自身結婚して70年、

おかげさまで卒寿を迎えることができました。これからはコロナウィルス感染拡大が一日も早く終息し、平和な世の中を迎えられることを願うばかりです。家族のみんな、ご近所の方々、色々な趣味の会の皆様の長い間のお付き合いに感謝いたします。

す。これからもよろしくおねがいします。

今は、共に定年退職を迎えた長男夫婦に、色々とお世話になりながら幸せな毎日を過ごしております。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。



趣味部会

部長 豊田 幸雄

古着キャンペーン

趣味部会の活動として、例年好評の古着キャンペーンを実施しました。

コロナウィルス感染症対策を取り、世羅西支部の協力のもと行うことができました。

会場：小国自治センター

日時：2021年11月24日水〜26日金

来場者：延べ120名

会員さんを中心に、まだ着ることができ、タンスに眠っている古着などを会場に持ってきて寄付をしていただきました。

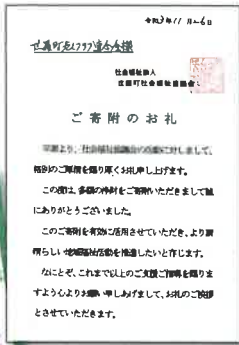
1着100円のバザー形式で、集まった古着を希望者にお譲りしたほか、今年は大阪府のNPO法人ホームドア様、福岡県のNPO法人ほうぼく様への古着寄贈も行いました。

3日間の期間中、延べ120名の方にお越しくださいました。役員さんが地域のかたから古着を預かって持ってきてくださったケースもありました。

古着のキャンペーンは今回で3年目となりますが、まだまだ初めて知ったという方も多く、来年の開催を希望される声もたくさん届いています。

会場の一角に体験コーナーなどを設け、会員さんや来場者の方の交流の場を作ってみてはどうかというアイデアも出ていました。

また、告知が十分に行き届いていないことを課題視する声もあり、もつとたくさんの方に知ってもらうための工夫が必要です。バザーの収益金は、昨年を上回り18500円となりました。今年は、世羅町社会福祉協議会へ寄付をさせていただきました。



女性委員会報告

女性委員会委員長 島崎 憲子

「パッチワーク合同作品」

会員の皆さん、新型コロナ禍で気軽に外出できない日々、手芸等をして過ごされていることでしょう。

昨年のテーマ「つながり」に引き続き、趣味部会と合同で令和三年度はテーマを「めぐもり」とし、皆さん一人一人が何かを感じて貰えたらとの思いで企画し募集を行いました。二十七名の方から応募があり五十五枚もの作品が届きました。

早速、十一月二十九日、役員有志数名が集まり、配色、配置を決め十五センチ四角の作品をつなぎ合わせ、アイロンがけをしました。

ちょうど同日、県老連から広報の方が来られ「県老連だより」(三月発行)に昨年度の作品を載せてくださるこの事、みんなでその作品を持っているところを写していただきました。

十二月三日、再度集まり、つなぎ合わせたパッチワークに裏布、厚手の芯、周りにはバイヤステープで仕上げ、それぞれが自分のできることを見つけ、時にはおしゃべりも楽しみながら作業し完成しました。

「パッチワーク合同作品」に関わってくださった皆さんとの繋がりを通して温かみのある作品が完成しました。皆さんに心より感謝申し上げます。

これからも、コロナには十分気を付けながら明るい気持ちで毎日を過ごしましょう。作品は、甲山自治センター一階の壁面に昨年度の作品とともに、飾っております。ごっごっご覧ください。



●若手委員会から

若手委員 黒木 悦治

第三回世羅町老連
健康クラブゴルフコンペ

第一回は令和元年度末の三月三十一日、第二回は十一月二十四日、そして今年度の第三回大会は、秋の取入れも終わり朝晩の冷え込みの少ない時期十月の二日に決めました。

多くの方々の参加があると期待してありました。やはり四十人の申し込みがありました。ゴルフコンペ参加者は、忙しからうが、寒かろうが好きな人は参加してくださいるので、あれこれあまり考え過ぎるごできなくなります。

四十人もの高齢者が集まるとなると、当日体調が悪くなる人もおられ、当日は三十九人の参加となりました。

私も今年は、大好きなゴルフができることへの感謝をつくづく感じる年でした。

三十九人参加して頂き、その中の七人は、老人会に入ってい

ない人で、入会費を支払ってコンペに参加して頂きました。これを機に、老人会入会の礎となればいいと思います。

老人会の「卒業者が多くて入会者が少ない」現状では、衰退するのも当然です。趣味の合う人々がグループ活動する。その中でも、ゴルフは個人の健康とストレス解消に最適です。コンペは次回以降も続けていきたいと思しますので、よろしくお願ひ致します。



甲山支部だより

甲山支部

第二十一回親善GG大会

○十月七日(木)

○宇津戸スポーツ広場

はじめに予定していた時期にコロナ緊急事態宣言が発令され、解除を待ってやっと開催された本大会。濃い霧のグラウンドにマスク顔が集まった総勢五十三名の参加者の皆さん。やる気十分で、プレーが始まると霧も晴れ暑い陽射しの中、終始盛り上りました。

成績は次のとおりです(敬称略)

- 優勝 藤井文荘(東)
- 準優勝 内海一技(宇津戸)
- 第三位 有地昌三(宇津戸)
- 第四位 杉原節子(甲山)
- 第五位 政宗義紀(中央)
- 第六位 松井波子(中央)
- 第七位 田渕光明(東)
- 第八位 安石寿夫(甲山)
- 第九位 京楽夏子(甲山)
- 第十位 松井隆子(中央)



世羅支部だより

世羅支部の現状について

世羅支部会長 矢山 武

本年度、新しく支部長を引き受けて、思った以上に大変な一年でしたが、任期中は充分なことにはならない中でも、老人クラブの活動の向上を目指し頑張る決意です。会員の皆さんの協力で、楽しい老後の一助になればと願っています。

コロナ禍で三月に行事予定が集中しています。実施出来るかどうか心配ですが、充分な対策を行い、盛大に開催出来ればと思います。

世羅支部では、活動の継続が難しい単位クラブも出ていますが、支部四地区で何とか維持して、健康づくりや生きがいづくりの活動を継続してほしいと願っています。

若手会員の加入者が非常に少なく、会員も高齢により役員の担い手がいないなど、課題も多くあります。世羅高駅伝の様にはいかなくても、役員が力を合わせて頑張りますので、皆さん一緒に頑張りましょう。

(世羅支部組織図参照)

世羅支部組織図



- 【3月の行事予定】
- ①3月2日(水) 研修会「世羅郷土民族資料館見学&高齢者向け電気自動車試乗会」(コロナ禍のため中止)
- ②3月9日(水) (会場) 西大田自治センター
- 第16回世羅支部
- グラウンド・ゴルフ大会 (会場) せら夢公園

健康「グラウンド・ゴルフ大会」・終活講演会「老後の備えのために」を開催!

大田地区老人クラブ(代表 升本正明)では、令和三年十月



「グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。この大会は、心身の健康を維持し、人のつながりを深め仲間との絆も深まり、明るく充実した生活を送ることを目的として毎年続けています。

三月には、終活の準備に必要な「老後の備えのために」と題して、尾道公証役場の公証人を招き講演会を開催しました。身近に必要な遺言や相続について、判りやすく質の高い充実した内容の講演でした。受講した会員は、遺言書の万全な作成手続等を勉強ができました。



西大田地区高齢者防犯モデル地区推進活動の取組み

西大田地区老人クラブ(代表 山崎始)では世羅警察署・世羅町の指定を受け、高齢者が特殊詐欺等の被害に遭わないよう、「高齢者防犯モデル地区推進活動」に取り組んでいます。推進期間は二年間で、主な内容は次のとおりです。

- 一、出前防犯講座の開催
- 二、高齢者宅の訪問と防犯グッズの配布
- 三、のぼり旗の設置や街頭での啓発
- 四、著名人による講演会の開催など

西大田駐在所植松巡査は、「情報化社会の今、悪質業者も日々新しい商品や手口を考え、高齢者の財産を狙っている。」と、出前防犯講座を受講された住民に訴えられました。

西大田老人クラブでは、関係機関と連携して地域で声かけして、みんなで高齢者を守る運動を進めています。



世羅西支部だより

世羅町老人クラブ連合会 世羅西支部作品展示会

世羅西支部では十月二日から十七日までせらにしタウンセンター市民ギャラリーにおいて作品展示を行いました。

九月いっぱいコロナ緊急事態宣言発令中だったので、展示日数は少なくなりましたが、会員の皆さんの力作を八十四点展示することができました。



世羅西支部 グラウンドゴルフ大会

十月二十五日、せらにしタウンセンター広場でグラウンドゴルフ大会を開催いたしました。

「おはよう 久し振りじゃのう元気にしとるん」「コロナが早う終わらんかのう」で始まりマスクを着用、三密を避け会員相互の親睦と交流を深めました。

男性二十五名 女性二十六名の参加者でした。

○成績は次の通りです(敬称略)

女性の部 優勝 山田雪子

第二位 和田マズ子

第三位 古原和子

男性の部 優勝 奥谷 敬

第二位 伊藤 弘

第三位 井上静人



世羅町いきいきおでかけポイント事業の終了にあたって

いきいきおでかけポイント手帳物語

町老連会長 田坂 誠

平成30年10月から、町より依頼を受けて始めた「ポイント手帳」でしたが、老ク会員だけに2000円程度の景品まで付けた優遇扱いに町民からの批判もあがり、1年度で打ち切りの相談がありました。老連役員としては、ようやく会員に理解され始めた段階で、「石の上にも三年」の諺通り、3年取り組んだ結果での判断を望み、延長を要望した結果、令和3年3月末まで延長との通知が来ました。理事会に於いては、丸3年目に当たる9月末までを更に要望することになり、町と再三にわたり話し合いを行って要望を受け入れてもらい、今年度9月末で終了するに至りました。会員さんからは更なる延長の要望も有り、町との話し合いをしましたが、町としての考えは、行政年度は3月で、町は令和3年3月で3年間事業を終了したものを半年延長しているので、これ以上の再延長はあり得ないとの結論でした。会員の皆様、事務局をはじめ役員の皆様、ポイント事業に参加され関わっていただいた皆様全てに感謝いたします。

100ポイントで1冊 3年間の支部別提出総数 = 795冊

甲山支部
289冊

世羅支部
289冊

世羅西支部
217冊



○事務局員の交代がありました

町老連事務局が行旨紗矢佳さんから、新谷清務さんに代わりました。行旨さんには、足掛け5年にわたり勤務、若い感覚をもって、パソコンやインターネットなどを駆使して事務にあたられ、大変お世話になりました。昨年12月をもって退職の意向が出され、後任に西上原在住の新谷さんが着任されました。世羅町老連は、会員約1,600名が3支部37単位クラブに所属して活動する大所帯の団体です。新谷さんには、今後事務局としてご苦労をおかけしますが、四方八方への連携を密にして、会の発展のためご尽力のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

町老連の令和三年度の歩みを振り返り、四年度に希望をもって踏み出すために、年に一度の広報紙「老連だより」第17号をお届けいたします。

編集に際しましては、世羅町長様、世羅社協会長様からの御挨拶をはじめ、会長、各支部、各委員からの報告や提案、卒寿を迎えられた先輩の皆様からの寄稿文、各支部の活動報告等、多くの皆様からいただきました原稿・写真をもとに編集し、発行に至りました。ご協力いただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。

昨年度に続くコロナ禍で、顔を合わせての編集会議が困難な中、メールやファックス、電話、郵便、手渡し等あらゆる手段をとりながら、工夫して取り組みました。会員の皆様方におかれましては、各記事を熟読いただき、来年度の活動につなぐ営みをどうぞよろしくお願いいたします。

尚、今年度の広報部会は、会長、副会長、事務局、各支部事務局、広報担当会員の實質十一名で担当いたしました。今後とも、広報紙としての機能充実にむけて努力して参りますので、皆様からのご提言をよろしくお願いいたします。

広報部会一同